

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 98

2016年2月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、徳元 俊伸 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します
2. 「ベアリングレスモータ・超高速モータの最新技術動向に関するミニシンポジウム」開催のご案内
3. 「平成27年度 産学共同研究成果発表会 ～地域の課題を解決する～」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「産学連携学会第14回大会（浜松大会）」を開催します

産学連携学会（浜松大会）を下記の要領で開催いたします。
たくさんの方々のご発表・ご参加をお待ちしております。

【開催の趣旨・目的】

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人、産学連携に関心のある人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展をとおして、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務家などが広く交流し、相互に啓発しあう場として、下記により第14回年次大会を開催します。学会員はもとより産学連携に関心のある方々の多くの参加をお願い申し上げます。

【日 時】

2016年6月16日（木）、17日（金）

【会場と概要】

(1) 会場

○アクトシティ浜松
研修交流センター・コンgresセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL 053-451-1111
URL <http://www.actcity.jp/>

○情報交換会（16日（木）18：30～20：00）
オークラアクトシティホテル浜松
〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2
TEL 053-459-0111

(2) プログラム構成

- 1) 特別講演
- 2) シンポジウム
- 3) 一般講演
- 4) オーガナイズドセッション
- 5) ポスターセッション

(3) 大会参加費

| | | | | |
|----------|------|--------|-------|--------|
| 正会員/個人法人 | (予約) | 5,500円 | (非予約) | 6,000円 |
| 正会員/学生 | (予約) | 2,500円 | (非予約) | 3,000円 |
| 非会員 | (予約) | 8,000円 | (非予約) | 9,000円 |

(4) 情報交換会参加費

| | | | | |
|----------|------|--------|-------|--------|
| 正会員/個人法人 | (予約) | 5,000円 | (非予約) | 6,000円 |
| 正会員/学生 | (予約) | 2,500円 | (非予約) | 3,500円 |
| 非会員 | (予約) | 5,000円 | (非予約) | 6,000円 |

【参加登録期間・要旨提出期限】

- 1) 発表・参加登録期間 1月28日(木)～4月7日(木)
- 2) 発表要旨提出期限 4月14日(木)

産学連携学会ホームページから「大会情報」にお進みいただき、「WEBからの申込」フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。お申込ができない場合は、大会事務局までご連絡ください。

産学連携学会ホームページ

産学連携学会 第14回大会 開催案内

http://www.j-sip.org/annual_meeting/14th_2016/14th_index.html

【組織】

大会事務局
国立大学法人静岡大学

産学連携学会第14回大会実行委員会

大会長 伊東 幸宏 (静岡大学長)

副大会長 今野 弘之 (浜松医科大学医学部附属病院長)

実行委員長 木村 雅和 (静岡大学イノベーション社会連携推進機構長)

【お問い合わせ】

産学連携学会第14回大会実行委員会事務局

E-mail: sangaku2016@cj.sizuoka.ac.jp

Tel: 053-478-1702 Fax: 053-478-1711

2. 「ベアリングレスモータ・超高速モータの最新技術動向に関するミニシンポジウム」 開催のご案内

ベアリングレスモータは、回転子を磁気力により非接触で支持する『磁気浮上モータ』です。本シンポジウムでは、北海道大学、東京工業大学、東京都市大学、諏訪東京理科大学、および静岡大学におけるベアリングレスモータと超高速モータの最新技術動向・研究成果に関する講演会を行います。

企業の方でもご興味のある方は、ぜひご参加ください。

【日時】 2016年3月3日（木）、4日（金）

【会場】 静岡大学 浜松キャンパス

【参加費】 無料

(人数把握のため、下記のサイトから参加登録をお願いいたします)

<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~tjasama/>

【懇親会】 有料

* 開催場所、懇親会料金は参加お申込後お知らせいたします。

【プログラム】

[3 日]

13:30 ~ 13:40

「開会のあいさつ」 深尾 正（東京工業大学 名誉教授）

13:40 ~ 14:20

「ベアリングレスモータドライブシステムの簡素化・低コスト化」 朝間 淳一（静岡大学 准教授）

14:20 ~ 15:00

「磁気浮上と補助人工心臓」 進士 忠彦（東京工業大学 教授）

15:10 ~ 15:50

「低電圧大電流超高速PM モータの開発」 野口 季彦（静岡大学 教授）

15:50 ~ 16:30

「10万rpmにおける超高速ベアリングレスモータの実負荷試験と運転特性」 竹本 真紹（北海道大学 准教授）

17:00 ~

懇親会

[4 日]

9:30 ~ 10:10

「100kWベアリングレスPMモータの設計検討」 千葉 明（東京工業大学 教授）

10:10 ~ 10:50

「低速・大トルクベアリングレスパーニアモータの研究」 土方 規実雄（東京都市大学 助教）

11:00 ~ 11:40

「1軸及び2軸能動制御型ベアリングレスモータの研究開発」 杉元 紘也（東京工業大学 助教）

11:40 ~ 12:20

「dq軸電流制御ベアリングレスモータの研究開発」 大島 政英（諏訪東京理科大学 教授）

12:20 ~ 12:30

「閉会のあいさつ」 千葉 明（東京工業大学 教授）

【主催】 公益財団法人 浜松科学技術研究振興会

【問合先】 静岡大学工学部機械工学科 朝間

TEL : 053-478-1033 FAX : 053-478-1041

E-mail : asama [at] shizuoka.ac.jp

3. 「平成27年度 産学共同研究成果発表会 ～地域の課題を解決する～」のご案内

静岡市産学交流センターでは、地域の産業が抱える身近な課題を解決するため、中小企業者等と大学が共同で取り組む「地域課題に係る産学共同研究」を公募し、

採択された7テーマを平成27年7月より実施して参りました。

これらの取組内容を多くの方々に知っていただくこと、その成果をご活用していただくことを目的に、産学共同研究成果発表会と成果品の展示・交流会を開催いたします。

【日 時】 2016年3月17日（木） 13：30～17：30

【会 場】 B・nest静岡市産学交流センター6階 プレゼンテーションルーム

【参加費】 無料

【プログラム】

第1部 成果発表会 13：30～16：30

基礎コース

- 発
査
1. 静岡家具の将来を担う革新的な木材の曲げ加工を活用した木材インテリア商品の開発
 2. 障害者福祉施設内における障害児（者）移動システム
 3. ムスリム観光誘致と産業活性化に向けて、静岡におけるハラールフードに関する調査
 4. 【脳の積極活動】の為の声と音と香りの木工模型の商品開発

応用コース

- 発
5. オクシズヒノキ材を用いた木質調音パネルの開発
 6. 緑茶の機能性を強化する新たな飲料の開発
 7. 多段階式硝化反応を用いた食品加工廃棄物からの植物栽培用液肥製造システムの開発

第2部 展示・試食・交流会 16：30～17：30

【詳 細】 <http://www.b-nest.jp/itaku/>

【主 催】 B・nest 静岡市産学交流センター

【申込・問合せ先】

B・nest 静岡市産学交流センター

TEL：054-275-1655 FAX：054-275-1656

E-mail：info[at]b-nest.jp

《 みんなのコラム -92- 》

記：創造科学技術大学院、理学部生物科学科 教授 徳元 俊伸

静大勤続20年となりましたが、この間ずっと大学改革を経験してきました。中でも知的財産権や産学連携の動きはこれまで全く馴染みの無かった我々理学部生物科学科の教員にも無視できないものとなりました。知財関連のセミナーが盛んに行われ、特許出願も推進されてきました。

私の研究室では卵の減数分裂誘導や排卵の仕組みを一貫して研究しており、タイミング良く魚類の新しい産卵誘発法を確立していましたので、流れに乗って特許出願させていただき、明細書の内容や特許のしくみなど勉強させていただきました。例の無い方法ということで特許取得となりましたが、これまでに水棲動物飼育装置の業界の方や養殖業の方からの技術相談は何度か受けましたが実用化には至っていません。

しかし、この経験により研究計画においても産学連携を意識するようになってきました。

現在、中心テーマとしている減数分裂誘導ホルモンの受容体が新規のステロイド膜受容体であったため、この人工合成タンパク質についても特許申請までこぎつけました。特許とは無関係ですが産学連携で実現できたことと言えばモノクローナル抗体の販売です。ま

た、
現在、ステロイド膜受容体反応性物質に反応して光る培養細胞を用いたスクリーニング系の利用先企業を探しているところです。

以上の私の研究室の例のようにゆっくりとした動きではありましたが、理学領域にも産学連携の意識は定着してきております。未だに産とのギャップが大きいことは理解しておりますので、より根本的な事象を研究対象としており、重大な発見の可能性を秘めた我々の研究についてもご理解とご協力をいただければ幸いです。

<< 編集後記 >>

2月2日（火）に筑波大学の利益相反アドバイザーである新谷由紀子准教授をお招きし、利益相反とそのマネジメントについてのセミナーを開催しました。大学の「第三の使命」が産学官連携等を通じてより直接的に社会との関わりを持ち、社会貢献を果たしていくことであると言われてだしてから、既に10年以上経過しておりますが、社会との関係が密接になっていくことと比例して、大学ではこれまであまり意識されなかったリスクが発生しております。こうしたリスクを事前に察知して、それらをマネジメントすることは、大学が社会からの信頼を維持しながら、その本来の使命を果たしていく上で欠くことのできない活動です。今回は多くの大学教職員、公的機関のコーディネータにご参加いただき、利益相反について真剣に考えていただくセミナーとなりました。イノベーション社会連携推進機構では、厳密に利益相反問題といえるかどうかにかかわらず、幅広くご相談をお受けいたします。

* - *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
編集：谷口悠里
発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1413
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - *

Copyright (c) 2008-2016
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved